

「社会科等における見方や考え方と思考力、判断力、表現力等」イメージ（たたき台案）

【高等学校地理歴史科、公民科】

思考力、判断力、表現力等

社会的事象の見方や考え方をを用いて、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察する力
 社会に見られる課題を把握して、それらの解決に向けて構想する力
 考察したことや構想したことを説明する力、議論する力

【中学校社会科】
 (地理的、歴史的、公民的分野)

社会的事象の見方や考え方 (追究の視点や方法)

現代社会を捉える見方や考え方

個人と社会との関係に着目して
 社会的事象を見出し

現代の社会生活と関連付けて

社会的事象の地理的な見方や考え方

位置や空間的な広がりとの関わりに着目して
 社会的事象を見出し

地域等の枠組みの中で、環境条件や他地域との
 結び付き、人間の営みなどと関連付けて

社会的事象の歴史的な見方や考え方

推移や変化などに着目して
 社会的事象を見出し

比較して相違や共通性を明確にして
 原因と結果を関連付けて

① 考察する力

② 構想する力

③ 説明する力

④ 議論する力

帰納・演繹

比較・関連付け・総合

社会的事象の見方や考え方の基礎

- ・位置や空間的な広がり
- ・時期や時間の経過
- ・事象相互、人々の立場相互の関係 に着目して
 社会的事象を見出し
- ・事象を比較・分類したり総合したりして(特色)
- ・国民(人々の)生活と関連付けて(意味)

【小学校社会科】
 (第3～6学年)

【小学校生活科】
 (第1、2学年)

比較する、分類する、関連付ける
 などの思考

伝える、相互交流する、振り返る
 などの表現

幼児教育

身近な物や遊具に興味をもってかかわり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。

生活に関係の深い情報や施設などに興味や関心を持つ。

思考力、表現力の基礎の育成

感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで
 表現したり、自由にかいたり、つくったりなど
 する。

したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたり
 などしたことを自分なりに言葉で表現する。

社会との関わりを意識した課題解決的な学習の充実

社会的事象の見方や考え方（追究の視点や方法）の例（たたき台案）
 社会的事象の見方や考え方は、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連等を考察する際の「追究の視点や方法」である

小学校

考えられる追究の視点（例）

- 位置や空間的広がり
の視点
地理的位置、分布、地形、環境、
気候、範囲、地域、構成、
自然条件、社会的条件
- 時期や時間的経過の視点
時代、起源、由来、背景、変化、
発展、継承、維持、向上、計画
- 事象相互、立場相互の関係の視点
工夫、努力、願い、
つながり、関わり、協力、連携、
対策・事業、役割、影響

追究の視点を生かした「問い」の例

- どのように広がっているのだろう
- なぜこの場所に集まっているのだろう
- なぜ地域によって気候が異なるのだろう
- いつどんな理由で始まったのだろう
- どのように変わってきたのだろう
- なぜ変わらずに続いているのだろう
- どのような工夫や努力があるのだろう
- どのようなつながりがあるのだろう
- なぜ と の協力が必要なのだろう

社会科における思考力、判断力

社会的事象の見方や考え方の基礎

- 位置や空間的な広がり
- 時期や時間の経過
- 事象相互、立場相互の関係
に着目して社会的事象を見出し
- 比較・分類したり総合したりして
- 国民（人々の）生活と関連付けて



- 社会的事象の特色や意味を多角的に考察する力
- 社会に見られる課題について、自分たちにできることを
選択・判断する力

習得する知識、概念の例

- 組立工場を中心に部品工場が集まり盛んな地域を形成している
- 駅の周囲は交通の結節点なので人が多いため商業施設が集まる
- 国土の地理的位置や地形、台風などの自然条件によって気候は異なる
- 祭りは地域の豊作や人々のまとまりへの願いから始まった。
- 農作業は機械化により生産効率を向上させてきた
- 伝統芸能はが技や道具が多くの人々に継承され今に至っている
- 地域の安全は、関係機関の未然防止と緊急対応によって守られている
- 食料生産は私たちの食生活を支える役割を果たしている
- 政治には国民生活の安定と向上を図る働きがある
- 世界の人々と共に生きるには、文化や考え方の違いを認め合い
理解し合うことが大切である

中・地理的分野

位置や分布に関わる視点
緯度・経度、方位、距離
領域、等質地域、地方的特殊性場所に関わる視点
地形、気候、植生、景観人間と自然の相互依存関係に関わる視点
生活様式、衣食住、自然条件空間的相互依存作用に関わる視点
機能地域、都市圏、社会条件地域に関わる視点
地域性、過疎・過密、先進・発展途上

- それは、どこに位置するだろう
- それは、どのように分布しているだろう
- そこは、どのような場所だろう

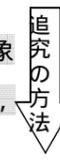
- そこでの生活は、まわりの自然環境から
どのような影響を受けているだろう
- そこでの生活は、まわりの自然環境にど
のような影響を与えているだろう

- そこは、それ以外の場所とどのような関
係を持っているだろう

- その地域はどのような特徴があり、それ
はどのように変化してきたのだろう

社会的事象の地理的な見方や考え方

- 位置や空間的な広がりとの関わりに着目して社会的事象
を見出し
- 地域等の枠組みの中で、環境条件や他地域との結び付き、
人間の営みなどと関連付けて



- 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多面的・多角的に
考察する力
- 地域に見られる課題の解決に向けて、複数の立場や意見を
踏まえて選択・判断する力

- 地球上の地点は、絶対的、相対的に表現できること
（具体例；明石市は大阪市の西にあり、その市立天文科学館は日
本標準時子午線上の北緯34度38分、東経135度0分にあります）
- 特定の事象は、地球の表面において特定の場所に広がること
（具体例；アマゾン川流域には、広大な熱帯林が広がっています）
- 地球上の各地は、多様な特徴を持つこと
（具体例；岡山県の南部は、なだらかな平野が広がり、一年を通して
温暖な気候の地域です）
- 人々の生活は自然の影響を受けるとともに、それを変化させること
（具体例；平野の乏しい日本では、その傾斜地を段々畑や棚田にす
るなどして利用してきました）
- 場所は相互に関係を持ち、影響を及ぼし合うこと
（具体例；東京の周辺では、新鮮な農産物を生産し、都市の住民に
届ける近郊農業が古くから発展してきました）
- 空間的な広がりには、固有の性格を持ち、変容すること
（具体例；中国地方の山間部では、人口減少や高齢化の進む過疎化
に悩む地域が広がっています）

中・歴史的分野

年代の基本に関わる視点
時期、年代、時代区分諸事象の推移や変化に関わる視点
変化、発展、時代の転換諸事象の特色に関わる視点
相違、共通性、時代の特色事象相互の関連に関わる視点
原因、背景、ねらい
結果、影響、意味、意義

- いつ（どこで、誰によって）おこったか
- 前の時代とどのように変わったか

- どのような時代だったか

- なぜおこった（何のために行われた）か
- どのような影響を及ぼしたか

社会的事象の歴史的な見方や考え方

- 推移や変化などに着目して社会的事象を見出し
- 比較して相違や共通性を明確にして
- 原因と結果を関連付けて



- 時代の転換の様子や各時代の特色を多面的・多角的に考察する力
- 歴史に見られる諸課題について、複数の立場や意見を踏まえて選択・
判断する力

- 今も世界に広まるいくつかの宗教は、数千年前に古代からの文明
地域の都市を中心におこった
- 南北朝の争乱や戦国の動乱を経て室町幕府の統一的支配が弱まり、
大名による領国支配と民衆による自治的結合が進んだ
- 近世は、江戸幕府等の強大な力を基盤に安定した全国支配体制が
形成され、産業・通商や町人文化が隆盛をみた時代であった
- 東アジア各地の国家統一の動きをうけて、中央集権的な法治体制
をめざす律令国家の建設が進められた
- モンゴル襲来のおと御家人の経済的困窮と武家社会における専制
的支配への不満が強まり、鎌倉幕府は倒壊に向かっていった

中・公民的分野

現代社会を捉える視点
対立と合意、効率と公正、
影響、意義、働き、機能、関連、
多様性社会に見られる課題や問題の解決策を構
想する視点
継承、創造、責任、役割、選択、
配分、向上、整備、保全、保護、
権利、義務、発展、維持、保障、推進、
形成、国際協調、貢献、熱意、
持続可能

- どのような影響を受けているのか
- 私たちにとってきまりとは何だろうか
- なぜ市場経済という仕組みがあるのか、
どのような機能があるのか
- なぜ議会を通して政治を行うのか

- よりよい決定の仕方とはどのようなもの
か
- 社会保障とその財源の確保の問題をど
のように解決していったらよいか
- 民主政治を推進するために何がなか
か
- 世界平和と人類の福祉の増大のためにど
のようなことができるか

現代社会を捉える見方や考え方

- 個人と社会との関係に着目して社会的事象を見出し
- それらの事象を現代の社会生活と関連付けて



- 社会的事象の意味や意義を多面的・多角的に考察する力
- 現代社会に見られる課題の解決に向けて、複数の立場や意見を踏ま
えて選択・判断する力

- 私たちのものの見方や考え方、判断、価値観などが文化によって
影響を受けている
- 人間は社会的存在であり、よりよい社会生活を営んでいくため
にはきまりや取り決めが必要である
- 人間の生活の維持・向上を図ることに経済活動の意義がある
- 合意の妥当性を判断する際に、無駄を省く「効率」と決定の手続
きや内容についての「公正」が必要である
- 財政に関して、少子高齢社会など現代社会の特色を踏まえ、財源
の確保と望ましい配分について対立と合意、効率と公正などの視
点から多面的・多角的に考察・判断することが大切である
- 地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題に対しては、経済
的、技術的な協力などが大切である